

学校図書館支援センター通信 NO.117 12月号

平成29年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

文部科学省委託研究校 塩焼小学校 11月30日（木）学校図書館活用授業公開研究会



協力校の塩焼小学校にて、学校図書館活用公開授業研究会が行われました。2年生、5年生の国語科の授業が公開されました。

塩焼小学校は、学校目標「体を鍛え、書を読む子の育成」を基盤に日頃から、学校司書と連携を図りながら、学校図書館活用を実践され、研究を深めている学校です。公開授業の様子を紹介します。

【2年生 「広がれ! お話ワールド」～かさこじぞう、ないた赤おに～】

「かさこじぞう」と「ないた赤おに」の2つの教材文をまとめて一単元とする新しい試みを行いました。心に染みる言葉や表現に着目さ

せるために、「ほっこりカード」を用いながら話を読みとっていきます。また、2つの教材文だけではなく、神話、昔話、近代童話を集め、より多くの話に出会うこともこの単元のねらいとしています。そして、自分が選んだ一番心が温まるお話を1年生に音読をします。

本時では、心が温まる話をキーワードに学校司書によるブックトークが行われました。「絵からもあたたかさが伝わってくる話」「言葉のリズムが心地よい話」「方言のよさが伝わってくる話」など、キーワードに沿って明確に伝えていました。



【5年生 俳句に親しみ、「5年4組思い出句集」を作ろう】

魅力のある俳句を作るために、図書資料を用いて、俳句作りの技法や季語について調べる時間を設けました。調べ学習に入る前に、学校司書による本の紹介の時間を設定しました。学校司書は、「俳句の作り方が載っている図書」「季語が調べられる図書」「名句を知るための図書」の3点に絞って紹介しました。また、いつでも振り返ることができるように、プリントを作成して子供たちに配っていました。事前に図書の説明を聞いている子供たちは、必要な図書資料をすぐに手にとることができます。この様にしてできあがった俳句は、「5年4組思い出句集」となり、学校図書館に置かれ全校児童に紹介されます。



学校司書研修会 本の魅力を伝えるために

12月1日（金）全国SLA学校図書館スーパーバイザー福田孝子先生をお招きして、「児童生徒の読書を広げる・深める」をテーマに、学校司書研修会が行われました。福田先生には、夏期の司書教諭研修会の際にもご指導をいただきました。今回は、前回の内容に加えて、学校司書として、子供たちと本をつなぐ方法を新たに紹介していただきました。表紙から想像を膨らませていく読書会では、2人組を作り、実際に体験しました。表紙から想像できることをお互いに話し合ってから、本を開いて順番に読んでいきます。一人で読書をする時とは違った楽しさがあります。また、子供たちに本を紹介するだけでなく、先生方に紹介することも大切であるという話がありました。そのためには、職員室に図書のコーナーを作ることもひとつの方法とのことでした。子供たち、先生方へ本の魅力を伝えるためのヒントをいくつも得ることができた研修会となりました。



南行徳中学校の職員室に設置された移動図書館



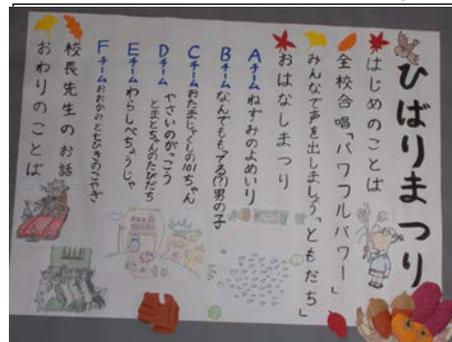
読書集会の様子

朝、図書室のカーテンを開けると、昇降口で待っている子供達が元気な声をかけてくれます。元気パワーがいっぱいになります。

中国分小学校は、11月に2週間の読書週間があります。読書週間は、図書委員会による読書集会からスタートします。今年の集会では、落語「まんじゅうこわい」を、パソコンを使った大型紙芝居で発表しました。他にも「読書郵便」を行い、毎年たくさんの郵便が子供達や先生方に届きます。掲示される先生方の「おすすめの本」の紹介も力作ぞろい、子供たちへの貸し出しは予約でいっぱいになります。

（中国分小学校 学校司書 吉田寛子）

稲越小学校 ひばりまつり ～本への世界一周旅行～



12月2日（土）稲越小学校にて、「本への世界一周旅行」をテーマにひばりまつりが行われました。稲越小学校では、日頃より、6年生が中心となって、縦割り活動が盛んに行われています。その縦割り活動の機能を生かし、ひばりまつりでは、全校児童が6つのグループに分かれて、劇を行います。子供たちは、本番直前まで、練習をしていました。「おおかみと七ひきのこやぎ」チームは、6年生の掛け声に合わせて、最後のセリフ「ガオー」をみんなでそろえて声を出し、心をついにしていました。チームが丸となって取り組んできた様子が伝わり、とても微笑ましい光景でした。

グループをまとめる6年生は、学校司書、司書教諭が選定した候補のたくさんの本を読み込み、その中から本を選びます。そして、6年生が選んだ関連図書は、学校図書館に設けられたコーナーに並べられます。学校図書館に並べられた図書は、低学年を中心に読まれています。自然な流れで読書に親しむ機会が生まれていました。6年生は、選んだ話のストーリーを大切にしながら、オリジナルの台本を作ります。また、6年生が考えたダンスが劇中で披露され、参観者を楽しませていました。1年生から6年生まで、どの子供たちも堂々と演じ、一人一人が輝いていました。

このひばりまつりは、学校だけではなく、地域の方々も楽しんでいる行事のひとつです。



台本ができあがると配役を決めて、練習が始まります。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

